第10回 京都国際インディーズ映画祭

映像・映画の果たすべき役割りとは何か

10th ANNIVERSARY

2016 KYOTO International Indies Cinema

2016年10月15日(土)

12:00～ / 開場・受付開始
12:30～ / 上映開始
16:00～ / トークショー
18:20------ 終了予定

京都・大江能楽堂

〒604-0944 京都市中京区押小路通柳馬場東入橘町 TEL.075-231-7625
ホームページ▶http://www.asahi-net.or.jp/~tn4m-ooe/index.html

◉参加費：1,000 円

◉お問い合わせ
京都国際インディーズ映画祭実行委員会
事務局：TEL.06-6241-0522
E-mail <h2d.hirose@poppy.ocn.ne.jp>

▼トークショー パネリスト

広瀬之宏
・京都国際インディーズ映画祭 代表

杉原賢彦
・映画批評家

佐藤博昭
・ビデオ作家

丹下紘希
・映像作家・人間

谷元浩之
・映画プロデューサー

▼プログラム

12:00～：開場・受付開始

12:30～ **◉【第１部】京都映像アワード 2016 受賞作品上映**
―フランス、ベトナム、スペイン、イギリス、日本など世界の短編映画を上映―
＜京都国際インディーズ映画祭＞は今年で 10 年目を迎えます。
本映画祭には世界の様々な国から、言語、宗教、民族、価値観などの違いを越えて、制作者の想いや心の叫びが、メッセージを携えて短編映画として送られてきます。
私たちは、この「小さな映画」に込められた大きな想いを大切にしていきたいと思っています。
●＜上映作品＞全 16 作品(予定)
＊上映作品は都合により変更になる場合があります。予めご了承ください。

16:00～ **◉【第２部】トークショー：「映像・映画の果たすべき役割りとは何か」**
「小さな映画」に託された日常の不思議や課題を読み解き、「映像・映画の果たすべき役割りとは何か」を討議する。「小さな映画」が、人を、地域を、国を、世界を動かす。その根源に迫る。
・杉原賢彦(映画批評家)・佐藤博昭(ビデオ作家)・丹下紘希(映像作家)
・谷元浩之(映画プロデューサー)・広瀬之宏(映画祭代表・クリエイティブディレクター)

17:30～ **◉【授賞式】京都映像アワード授賞式**
・審査総評、入賞者発表、授賞式

18:20 終了予定

第5回京都映像アワード

第5回 京都映像アワード
受賞作品、一挙上映！

短編映画

時代を記憶する【小さな映画】。

地域を大切にする人々の声が「小さな映画」となって各地から届きました。
人々の感性が果たすべき役割りとは何か。
人々の知恵が果たすべき役割りとは何か。
京都映像アワードは、身近な私たちの生活の場に在る大切なモノとコトを共有し、次代に記憶として残し、優れた価値観を伝え、育てるために設立されました。

パートナー映画祭：京都国際映画祭、KYOTO CMEX、映像祭：東京ビデオフェスティバル（TVF）、吉富映画祭

■主催：京都国際インディーズ映画祭実行委員会、京都映像アワード実行委員会
●後援：京都メディア・アート・ラボ、NPO 法人市民がつくる TVF、SVP2
●協力：㈱映像システム、阪神特機サービス㈱、NEC ディスプレイソリューションズ㈱、京都府地域力再生プロジェクト支援事業、京都大学 東南アジア研究所
●協賛：NPO 遊プロジェクト京都、㈱メディア総合研究所、㈲ハーディセカンド、京都ラジオカフェ㈱、㈱パブロ、他